

番組審議会議事録

日時 令和7年5月15日（木）13:30～

場所 萩テレビ株式会社 会議室

出席者 審議委員6名 会社側3名

三浦正之、柳林浩一、牧野泉、大平憲二、北川秋穂、小川真綾【委員】

梶野晴彦、久保田桂子、井上光貴【会社側】

欠席者 藤田賢治郎【委員】

議題

[1] 会社側の報告等

・近況報告

・今回の審議番組について説明

審議番組：「今日も元気に前向き発信」（月～金 8：25～及び
13：00～放送）

パーソナリティ長谷 英治さん、久保田 桂子さん

・番組内容

笑いヨガティーチャーの長谷英治さんは、萩市内外で「笑いヨガ」を教え、普及活動をしている笑いヨガティーチャー。

「今日を前向きな気持ちで過ごせる」言葉を毎日1つずつご紹介。

このコーナーがその日一日の活力になれば最高に幸せとのこと。

[2] 番組内容の審議

次のような意見があった。

- すぐに実践はできないが、心の在り方や前向きになれるヒントがある番組で誰が聞いても分かりやすい。また、心のビタミン剤として聞く事が出来た。
- 番組趣旨の説明があると聞きやすい。
- 2人のトークには緩急があり、明るい声とトーンの番組で聞きやすかった。また、アシスタントの久保田さんが話をまとめたりしているのでテンポも良く感じた。
- 後半に流れる音楽が長いのでトークはより長い方が良い。また反対の意見としては、10分の番組なのでちょうどよく感じた。また、10分と言う長さなので毎日聞けるのではないかな。
- 前向きになれる話が、毎日1つと言うのが良い。2、3つとなると分からなくなる。

- 「すべては自分次第なんだ」というフレーズに感銘を受けた。
- 番組を聞き終わっても元気にならなかった。理由は、その言葉やテーマは誰の言葉で誰に向けているのかが、不明であるため。自分の経験なのか誰かの言葉なのかが分からない。なぜ、その話をしようと思ったのかが分からない。その話をしようとした背景が不明瞭である。その言葉を、なぜ話すようになったのかを話してほしい。
- 前情報がなく聞くと、誰が何を言っているのかが不明である。メンター的な事を話したいのかが分からない。無の状態から良い言葉を聞いても「はてな？」という気持ちが生まれる。
- 新規リスナー向けの番組と言うより、長谷英治さんのファンの方向けの番組か。
- 今までにない新鮮で意外な番組であり、これまでに耳にしたことがない内容だった。
- 放送の多様性が読み取れる番組として、聴く人の心模様にプラスになったり、まるで感じ取れなかったりする内容に思えた。心が沈んでいる場合には刺激になって、番組タイトル通り「前向き」になるかもしれない。しかしこの言葉だけで「前向き」になるのかという疑問もある。
- リスナーの受け取り方は様々と思うが、「今日も元気に前向き発信」と受け止める人が増えれば、本人も周りの人も楽しく過ごせるともう。
- ぜひ、ゆっくり焦らず、番組を続けてもらいたい。

<会社側からの回答>

- これからも市民が聞いて役立つ情報発信及び新しい番組の企画に努めていきたい。

[3] 次回開催について

次回は、令和7年7月17日(木)13:30～に開催することが決まった。

2025年5月18日(日)放送の「浜崎伝建おたから博物館」生中継特番に決まった。